

# 「認知症になっても 安心な暮らしの場」

## 地域への感謝から 生まれた事業

―舞浜俱樂部も今年10周年を迎えられたそうですね

はい。ダイニチグループ創業65周年の記念事業として舞浜俱樂部は誕生しました。

私は、専門家としてプロジェクト立ち上げ当初から関わっていますが、高齢化が進む中、介護が必要になっても、住み慣れた街で安心して暮らしていただける住まいをつくること、ダイニチを育ててくれた地域への感

謝のかたちであると考え、介護事業への参入を決意したと聞いています。

当時私は、スウェーデンケアの理念や手法を紹介しながら、日本国内の介護施設を回っていました。訪問した施設数は300にも上ります。その経験から、日本の多くの介護施設が抱える課題を目的としたり、スウェーデンケアの導入で、それを解決したいと考えていました。

代表取締役として施設運営を担う今、ダイニチとの出会いは、まさに運命的だったと思います。

舞浜俱樂部は、本格的にスウェーデンケアを導いた日本初の施設です。入った日本初の施設です。スウェーデンケアの基本的な考え方である、緩和ケアの「4つの柱」(1. コミュニケーションと関係2. チームワーク3. 症状のコントロール4. 家族支援)を支えに、「4つの側面」(1. 身体的側面2. 精神的側面3. 社会的側面4. 生存的側

## 日本初のスウェーデン ケア実践施設

―舞浜俱樂部では、どんなケアが行われていますか

舞浜俱樂部は、本格的にスウェーデンケアを導いた日本初の施設です。入った日本初の施設です。スウェーデンケアの基本的な考え方である、緩和ケアの「4つの柱」(1. コミュニケーションと関係2. チームワーク3. 症状のコントロール4. 家族支援)を支えに、「4つの側面」(1. 身体的側面2. 精神的側面3. 社会的側面4. 生存的側

## 舞浜俱樂部のケアを 地域へ、そして社会へ

―浦安市との協働事業について教えてください

厚生労働省の推計では、日本の認知症人口は、462万人、80歳以上では、4人に1人が認知症です。こうした人たちを地域で支えていかなければいけない時代がはじまっており、浦安市全体の認知症ケア力向上のための協働提案を行い採択されました。

事業者、家族、地域三位一体で、認知症の方々にサポートするため、社内教育機関「認知症緩和ケア研修研究センター」を通じて学びの機会を提供しています。

舞浜俱樂部は、地域への「感謝をかたち」にした事



タクティール®ケア プンネ法音楽ケア

れることで痛みや不安を緩和する「タクティールケア」や、簡単に操作できる楽器演奏を通じ、機能維持や精神の活性化につながる「プンネ法音楽ケア」を実践。人格の尊厳に深くかかわるスウェーデン生まれの排泄ケアシステムも取り入れています。いずれも、ケアプランに組み込んで、どのような成果があったか評価その実績を学会などでも発表しています。



市民公開の地域ケアセミナー

## Interview 創業 75 周年 インタビュー



株式会社舞浜俱樂部 代表取締役社長  
グスタフ・ストランデル 氏

### 株式会社舞浜俱樂部

2003年 ダイニチグループの介護事業運営会社として設立。日本で初めてスウェーデンケアを本格的に取り入れた2つの介護施設を浦安市内で運営。浦安市と協働で、地域の認知症ケア向上に取り組んでいる。

本社：千葉県浦安市高洲1-2-1 代表取締役社長：グスタフ・ストランデル

### ダイニチグループ

株式会社ダイニチホールディングス(不動産賃貸/不動産投資)

株式会社ダイニチ(資産活用/不動産管理)  
http://dainichi.co.jp

株式会社Dプライフ(寮・社宅仲介/人材紹介・育成)  
http://dprife.co.jp

株式会社舞浜俱樂部(介護施設運営/介護相談)  
http://maihamadub.co.jp

### ◆新浦安フォーラム



浦安市高洲1-2-1  
TEL.047-304-2400

### ◆富士見サンヴァーロ



浦安市富士見3-16-46  
TEL.047-350-7520

※タクティールは日本スウェーデン福祉研究所(JSCI)の登録商標です。